



1号 令和4年4月1日

<学校教育目標>

ともに伸びる

校長だより(職員編)

呉市立市阿賀小学校
安宗 誠

「自ら伸びる ともに伸びる」阿賀っ子を育てる

令和4年度版HP「学校長挨拶」は次のとおりです。

校長の安宗 誠と申します。本校に赴任して4年目を迎えます。創立145年の節目を迎える長い歴史と伝統のある学校です。私自身が本校で学び、教諭としても勤務させていただいた昔と全く変わることはない保護者・地域の皆様方の情の深さや惜しみないご協力に唯々感謝するばかりです。

お陰様で、このことが子供たちの姿にも大いに表れており、「全国学力・学習状況調査」では好成績を挙げ続け、呉市から善行表彰を受けたボランティア活動（「阿賀小児童ボランティア隊」(AJV)）も9年目を迎え、すっかり定着・・・等々。

児童数が約520名の大きな学校ですが、授業中の落ち着いた様子は相変わらずです。このことは、学校教育目標「自ら伸びる ともに伸びる」を踏まえ、本校職員が組織一丸となって、また、阿賀中学校と一貫して（小中一貫教育）、さらには、阿賀地区の教育機関、自治会等が積極的に連携（「阿賀学園地域教育連携協議会（アカデミア）」）しながら、教育を進めている成果でもあります。

「自ら伸びる ともに伸びる」姿を支えているもととなる心は、「感謝の心」と捉えておりますが、この心をさまざまな活動を通して、「大きな渦」にして、さらに育てていくことに、保護者・地域の皆様と一体となって取り組んで参りたいと存じます。

本年度もどうぞよろしくお願いいたします。

令和4年4月1日

呉市立阿賀小学校長 安宗 誠

10年近く前の話になります。落ち着きのある雰囲気を取り戻すために、まずは、形から入る指導に力を入れました。例えば、「4秒礼」、「無言移動」、「無言掃除」、「AJV 活動」等々・・・。職員が一丸となり、保護者、地域の協力を得ながら、ブレない指導を何年も積み重ねました。その結果、呉でも有数の落ち着いた学校になりました。それに併せて、学力もめきめき上向き、全国学力・学習状況調査でも好成績を挙げられるようになりました。

現在は、形から入ってできるようにする指導に加え、さらに、内なる動機付けによってできるようにする指導のあり方を追求しているところです。

そのために重点をおきたいことは・・・

- 1 「なぜ?なぜ?」を常に意識させる。
 - 2 評価しにくいことをあえて評価しようとする。
 - 3 評価し続ける。
- } → 「自ら伸びる」

- 4 意識せずに通り過ぎてしまいそうなことを意識させる
→ 「感謝」の意識化・行動化 → 「ともに伸びる」